北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	観光政策論II	科目コード	1225	単位数	3
担当者名	深澤　史樹	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	到達目標	D,F	実務経験	無
ナンバリング	JTp503	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

本講義は、「観光政策論Ⅰ」の講義内容を修得済みであることを前提に「観光政策論II」を位置づけております。先ず「ポストマスツーリズム」の考え方を学修し、次に具体的な事例をもとに「ポストマスツーリズムの地域観光政策」への理解を深めることをねらいとしています。また、持続可能な観光についてインバウンド・アウトバウンド・ループ（IOL）との関係やガストロノミーツーリズムなども取り上げて講義いたします。

到達目標

・ポストマスツーリズム（ニューツーリズム）を理解することができる。
・具体的な事例を学修することで地域観光政策をより深く理解することができる。
・インバウンド・アウトバウンド・ループ（IOL）を理解することで、持続可能な観光への理解をさらに深めることができる。

授業内容

1週目 ガイダンス：授業形態や出欠確認方法、課題の提出など受講に関するルールについて説明する。また、「観光政策論Ⅰ」を踏まえた「観光政策論II」の講義概要について説明する。
2週目 日本における観光の変容とポストマスツーリズム（ニューツーリズム）について説明する。
3週目 ポストマスツーリズムが地域住民にどのように咀嚼されているのかについて説明する（ポジティブな景色）。ー北九州市を事例にー
4週目 ポストマスツーリズムが地域住民にどのように咀嚼されているのかについて説明する（ネガティブな景色）。ーツーリズムワールドという観点からー
5週目 ポストマスツーリズムが地域住民にどのように咀嚼されているのかについて説明する（ポジティブとネガティブな景色の両義性）。ー観光産業が主導する沖縄県を事例にー
6週目 ポストマスツーリズムが地域住民にどのように咀嚼されているのかについて説明する（ポジティブとネガティブな景色の両義性）。ーコンテンツツーリズムの政策的考察からー
7週目 水辺を活用した新しい公共空間づくりと地域観光政策について説明する。
8週目 観光立国の推進と地方都市におけるインバウンド政策について説明する。
9週目 スポーツ政策における地方都市の観光まちづくりについて説明する。
10週目 まちあるきと観光について説明する。ー北海道夕張市を事例にー
11週目 観光が変える地域のイメージについて説明する。ー大阪市西成区を事例にー
12週目 日常生活圏域における観光の可能性について説明する。
13週目 持続可能な観光立国日本とインバウンド・アウトバウンド・ループ（IOL）について説明する。
14週目 地域課題やIOLへの取り組み状況について説明する。ー北海道を事例にー
15週目 日本におけるガストロノミーツーリズムの可能性と課題について説明する。
16週目 やむを得ず15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講授業を行う。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

・予習と復習は基本的にテキストを熟読し、併せてLMSで配信する当日の講義内容を収録したオンデマンド動画教材を視聴して理解を深めること。
・予習：毎回授業で指示された箇所を予め熟読し、LMSで配信するオンデマンド動画教材に目を通しておくこと。（所要時間：90分程度）
・復習：LMSで配信するオンデマンド動画教材を視聴し、課された課題についてはLMSを通して提出すること。（所要時間：90分程度）

成績評価の方法・基準

成績は、成績評価のためのレポート（70%）+課題提出（30%)で評価します。

履修上の留意点

・本講義は「観光政策論Ⅰ」を修得したことを前提とした内容になっていますのでご注意下さい。
・第1週目のガイダンスは、講義の重要な説明をしますので、必ず出席して下さい。
・成績評価は、11週以上授業に出席した学生を対象とする。

課題に対するフィードバックの方法

・提出された課題は、講義内（講義を収録した動画をLMS上へアップロード）で解説します。

テキスト

・特に指定はしません。レジメは事前にLMSからダウンロードしておいて下さい。

参考書

講義の中で、適宜紹介いたします。

更新日付

2026/01/26 04:53